

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名 大正区

学 校 名 鶴町小学校

学校長名 田崎 正幸

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・鶴町小学校では、第6学年 42名

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

平均正答率は国語が58%、算数が50%で、全国平均と比較すると、国語－9.7%、算数－13.4%と、いずれも下回っている。
また、大阪市平均と比べても同様に、国語－8%、算数－12%と、いずれも下回っている。
平均無回答率は、算数は4.2%で、全国平均（3.4%）、大阪市平均（3.2%）よりもやや高かったが、国語は2.6%で、全国平均（4.2%）、大阪市平均（3.3%）よりも低かった。

分析から見てきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

学習指導要領の内容の「情報の扱い方に関する事項」に関しては、全国、大阪市平均を上回っていたが、それ以外は下回っていた。

しかし、記述式の問題2問のうち、1問に関しては、平均正答率が大阪市平均を上回り、全国平均には届かなかったとはいえ、ほぼ同程度であった。書く力をつけるために、本校で取り組んでいる研究や視写学習が、少しずつ結果につながってきていると思われる。今後も継続して、取り組んでいく必要がある。

〔算数〕

正答率は全体的に全国・大阪市平均を下回っている。特に、学力の分布をみると、大きく2つの山に分かれている。現在、算数の専科教員を配置し、算数の基礎を身につけるための取り組みを進めており、継続して取り組んでいく。

質問調査より

「自分には、よいところがあると思いますか」「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の質問に対し、「当てはまる」と答えている児童が全国平均、大阪市平均より高く、自分に対する肯定感を持てている児童が多い。「人が困っているときは、進んで助けていますか」に対する肯定的な回答が全国、大阪市平均より高いのも、自己肯定感の高さによるものとも考えられる。また、「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか」に「当てはまる」と回答している児童も全国、大阪市平均より高く、これらが、「学校に行くのは楽しいと思いますか」に肯定的な回答が多い要因でもあると思われる。

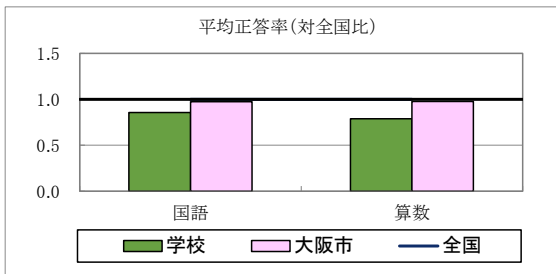
今後の取組(アクションプラン)

- ・書く力を育てる研究を進め、漢字チャレンジ・計算チャレンジを活用し、児童の基礎的・基本的な知識の習得を強化するとともに、学習に対する意欲を向上させる。
- ・学校だよりや「家庭学習の手引き」といった配付物、懇談会やPTA実行委員会の機会等を使って、家庭学習の大切さや協力を保護者に啓発する。また、行事を通じて地域や各家庭との連携を強化し、地域一体型で児童を見守る。
- ・学校司書と連携し、読書への意欲を向上させる。
- ・放課後学習や夏休み学習会を充実させ学習する機会を確保することで、自ら学習する態度を養う。

【 全体の概要 】

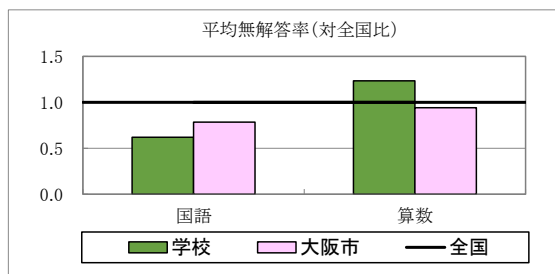
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	58	50
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4



平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	2.6	4.2
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4



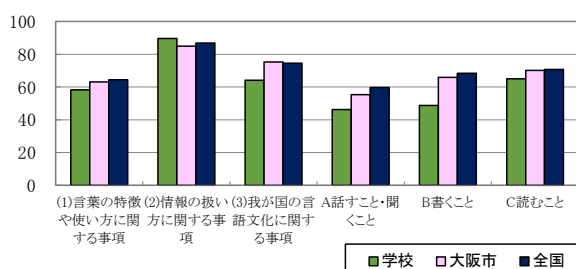
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	4	58.3	63.1	64.4
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	89.7	85.0	86.9
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	64.1	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	46.2	55.3	59.8
B 書くこと	2	48.7	65.9	68.4
C 読むこと	3	65.0	70.1	70.7

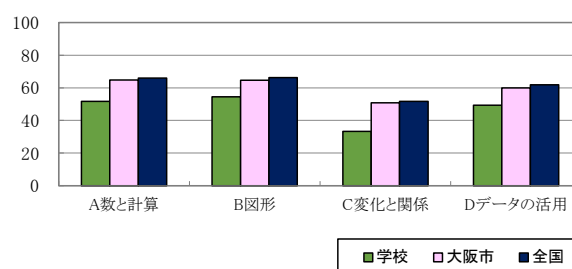
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	51.7	64.8	66.0
B 図形	4	54.5	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	33.3	50.8	51.7
D データの活用	4	49.4	60.0	61.8

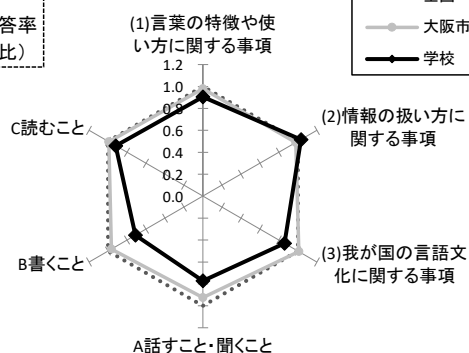
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



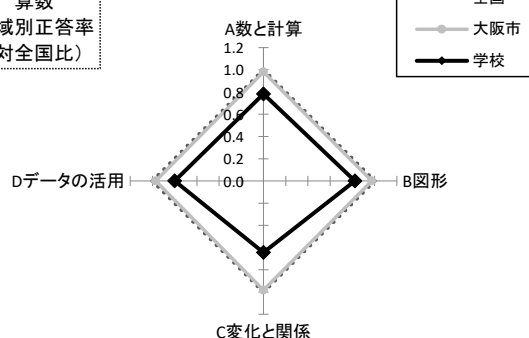
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)



算数
領域別正答率
(対全国比)



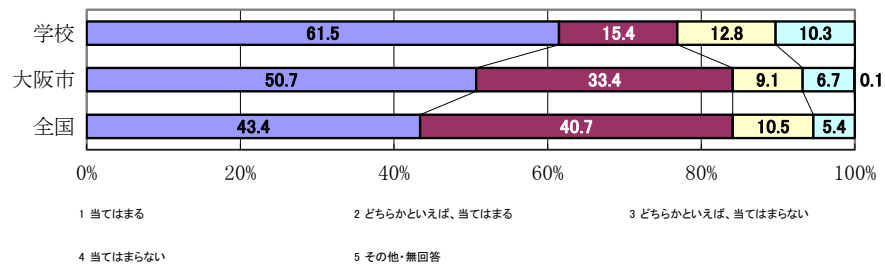
児童質問より

質問番号

質問事項

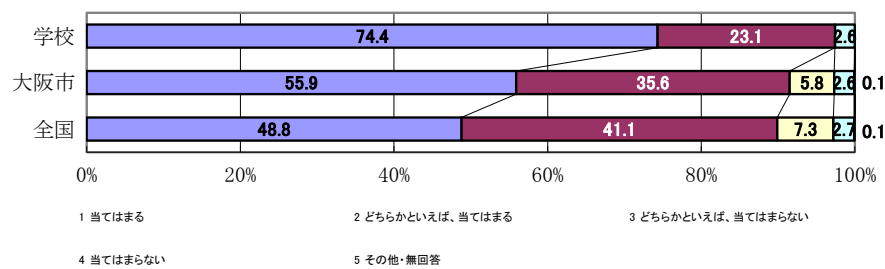
9

自分には、よいところがあると思いますか



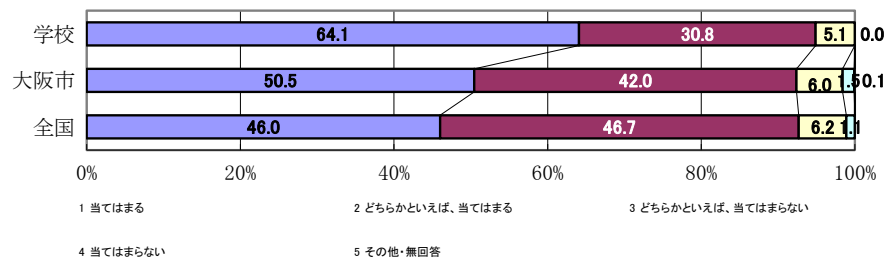
10

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



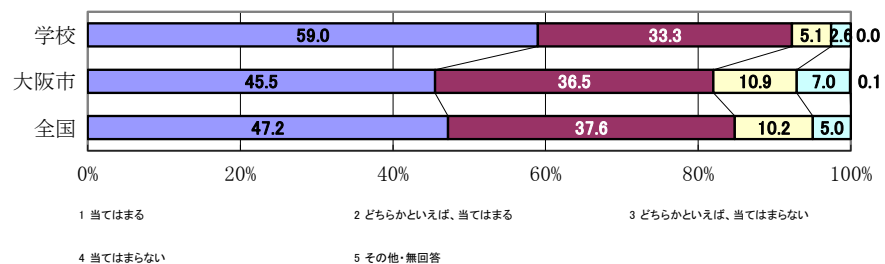
12

人が困っているときは、進んで助けていますか



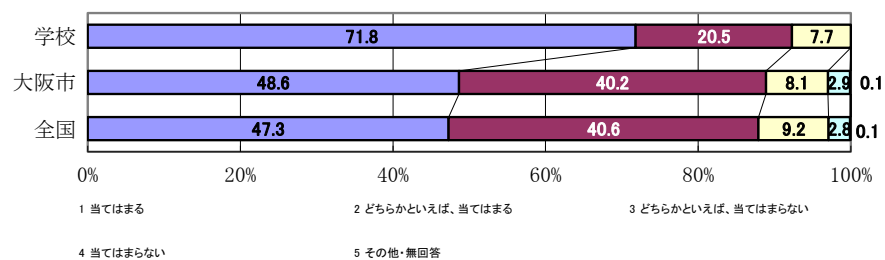
16

学校に行くのは楽しいと思いますか



36

先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか



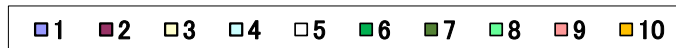
学校質問より

質問番号

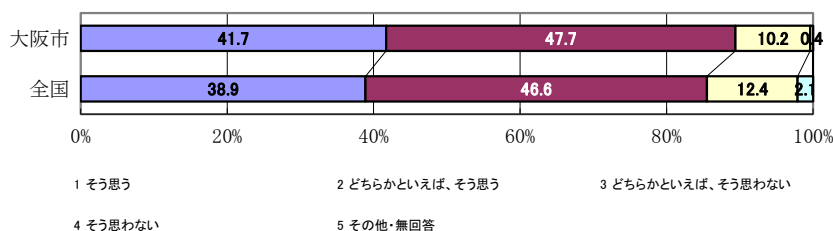
質問事項

7

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか



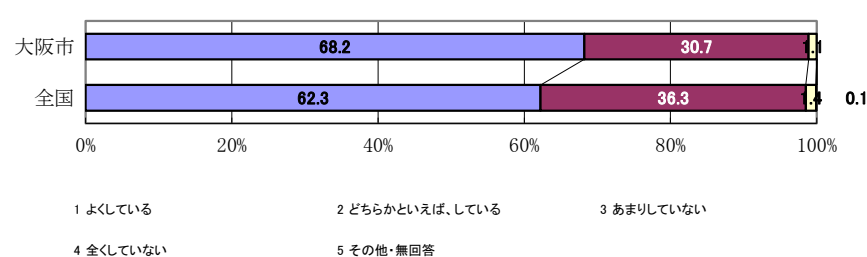
学校 「そう思う」を選択



16

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

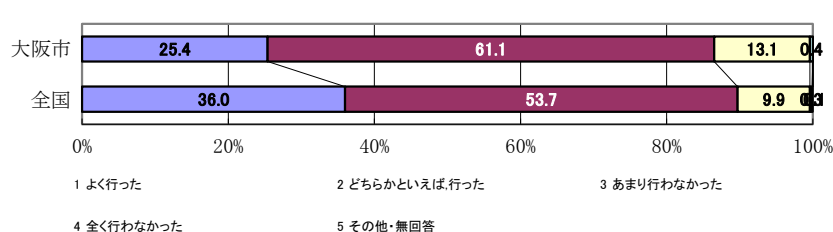
学校 「よくしている」を選択



72

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習について、児童が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行いましたか

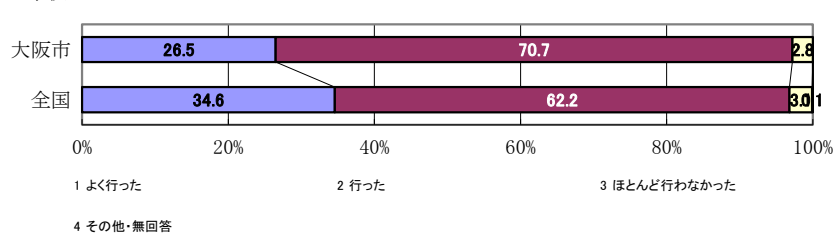
学校 「よく行った」を選択



74

令和5年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか

学校 「よく行った」を選択



75

全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映をどの程度行っていますか

学校 「よく行っている」を選択

